

科目名	小論文の書き方	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			全学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Composition	開講年次	■ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	はしもと しほ	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	橋 元 志 保	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	大学生にふさわしい論理的な文章を書くための基本スキルを身につけ、公務員試験の論文試験にも対応できる時事問題の知識や表現力を涵養することができる。				
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力を修得することができます。 1. レポートや論文等を書くための、論理的な文章の基本スキルを身につけることができる。 2. 公務員試験（地方上級職・警察官他）の論文試験に取り組むことができるレベルの時事問題の知識や表現力等を身につけることができる。				
授業概要	本講義では、小論文やレポートの書き方を学びます。大学生活において、論理的な文章を「書く」という行為は欠かせないものです。定期試験における文章問題やレポート、そして卒業論文など、「テーマを決め、それに基づいて資料を集め、構成を考え、明確な文章で叙述する」ということを求められる機会は数多くあります。 まず初めに、テーマの設定や資料の検索の仕方、構成の重要性、叙述のスキルなどを学んでいきます。また、自分が書いた文章を、表記や文体、構成などの観点から、より良い文章に推敲していく方法も身につけていきましょう。段階的に「書く力」「表現する力」を伸ばしていきますが、時事問題の効果的な取り入れ方についても学び、最終的には公務員採用試験の論文試験をクリアできる力を養成することを、目指しています。				
授業計画					
第 1 回	学術論文と試験論文について				
第 2 回	公務員採用試験の論文試験をクリアする方法Ⅰ－課題型と課題文型試験－				
第 3 回	コンポジションの方法Ⅰ－テーマと構成について－				
第 4 回	コンポジションの方法Ⅱ－題材と論拠について－				
第 5 回	コンポジションの方法Ⅲ－引用と要約について－				
第 6 回	コンポジションの方法Ⅳ－叙述のスキル－				
第 7 回	小論文を書いてみようⅠ－テーマの伝え方－				
第 8 回	小論文を書いてみようⅡ－三段構成法とは－				
第 9 回	推敲の極意－プロフェッショナルの言葉－				
第 10 回	時事問題の学び方『不都合な真実』と環境問題－				
第 11 回	時事問題の学び方－環境問題と持続可能な開発－				
第 12 回	時事問題の学び方－子どもの貧困と格差社会について－				
第 13 回	時事問題の学び方－少子高齢化と 8050 問題について－				
第 14 回	時事問題の学び方－アフター・コロナの社会－				
第 15 回	公務員採用試験の論文試験をクリアする方法Ⅱ－上達の極意とは－				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 段階的に難易度を上げて、読む力・考える力・書く力を養成するので、テキストの予習や配布された資料の復習を怠らず、課題プリントも毎回必ずやりましょう（2 時間程度）。 2. 時事問題を学ぶために、ニュースや新聞を読む習慣を身につけましょう（1 時間程度）。				
履修条件 受講のルール	「文章の読み方」を履修し、単位を取得していることが望ましい。なお、実際に書かないと文章は上達しないので、他の授業以上に毎回の課題をしっかりとやってください。				
テキスト	速水博司『大学生のための文章表現入門』（蒼丘書林 2002 年）				

参考文献・資料	授業時に紹介します。吉岡友治『論文試験 頻出テーマのまとめ方』（実務教育出版 2014 年）保坂弘司『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』（玉川大学出版部 1978 年）他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢（15%）、課題の提出（25%）、試験（60%）】を基に、総合評価をします。 1. 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。 2. 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。 3. 授業中の迷惑行為は厳禁です。そのような行為を繰り返し、注意しても改めない時は、履修または単位を認定できない場合があります。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	木曜日（13:00～16:00）※これ以外の時間は、事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	論理的な文章を書けるようになると、試験やレポート作成、就職活動等で必ず役に立ちます。また、公務員採用試験の論文対策も行いますので、志望者はぜひ受講してください。